

## 令和4年度専門領域推進部ウィメンズヘルス理学療法領域研修会 活動報告書

日時：令和4年12月11日（日） 10時～13時

形式：オンライン開催（Zoom）

内容：講義 『自律神経に対する評価・介入』

講師：及川 文宏 氏（一般社団法人日本アレルギーリハビリテーション協会 代表）

参加者：90名（県内25名、県外65名）

内容の詳細：

ウィメンズヘルス理学療法領域の勉強を進める中で、人間の体は自律神経が深くかかわっており、女性特有の疾患や症状にも自律神経は大きく関与していることが強く感じられ、自律神経に関する知識をより深めたいという思いが強くなった。また、ウィメンズヘルス分野のみならず、日々臨床で担当する患者さんにも、自律神経の介入ができると改善すると感じられるケースを経験することが多いという声があった。そこで本研修会の目的を女性の身体のみならず、日常の業務で出会うさまざまな疾患に対し、自律神経の評価や治療方法を学ぶことにより、明日から実践できる知識と技術を得ることとし、一般社団法人日本アレルギーリハビリテーション協会代表の及川文宏先生に講師を依頼した。

講師の及川先生より、自律神経に関わる身体的な特徴やPTとして診る視点、ウェルネスモニターを使用した自律神経を数値化して評価する方法、それをどう捉えるかということ詳しくご説明いただいた。また、自律神経の解剖生理学的な知識と共に、具体的な生活指導や身体的な徒手介入方法をご講義いただき、明日からでもすぐに実践できるような評価・介入方法を学ぶことができた。

時間の関係で直接の質問は2つしか実施できなかったが、終了後にもチャットにたくさんの質問が寄せられ、後日講師の先生から頂いた回答を受講者に送付する方法で対応した。当領域としては初めてのオンライン形式での開催であったが、スタッフ一同協力しながら終了することができた。

自律神経に関して臨床に現場ですぐに使える知識や評価方法や治療方法について学べる機会は少ないので、有意義な時間であったと思う。研修会終了後のアンケートでも、自律神経についてもっと知りたい、もっと活かしたいというコメントが多く寄せられ、臨床での必要性重要性もあると感じた。

ウィメンズヘルス、メンズヘルスの分野はどうしてもハードルが高く感じられてしまう分野ですが、自分のこととして、自分の身近な人のこととして、今担当している臨床の患者さんのこととして、捉えていただければ幸いです。

終了後に実施したアンケートは回答率 37%であり、研修会の内容は分かりやすかったと答えた方が100%と非常に満足度の高い研修会であったことがわかった。自律神経という視点、普段は見過ごしてしまうような視点を学ぶことができ大変勉強になったという意見が多かった。講義時間の設定に関し、ちょうどよかったと回答した方が90%と、3時間という時間がオンラインで集中して受講できる一つの指標になるのではないかと感じた。お昼を挟んだ時間設定は検討してほしいと意見があった。

全体を通して、大きな滞りなく運営することができてよかった。今後もオンラインでの研修会の開催は継続していくことが予想されるので、今回のアンケートを専門領域推進部全体に共有し、活かしていきたいと思う。

文責：Total Care Salon COZY 庄司優喜子